

## 大井川町

### 地形概況

大井川下流左岸、砂礫質の緩扇状地が広く、旧河道にそって埋立地や養魚場に改変された。微高地が島状に分布する。駿河湾沿岸は砂礫州がのび、その内側には後背湿地もみられる。河口付近は砂利採取跡をもとに堀りこみ港湾が作られた。

### 地質概況

大井川扇状地の厚い礫層が堆積する。沿岸には砂堆が形成され砂層が厚い。砂層に閉塞された沼沢性低湿地も残存する。自然堤防や旧中州は礫層、後背湿地は粘土、シルト質で砂礫層の厚さは上泉で90mに達する。圃場整備で表層の変化が著しい。

### 気象概況

年平均気温は推定16.0℃で、県内でも気温の高い地域である。年平均降水量は推定2,400mmと県内のほぼ平均で、特に春から夏季にかけて全降雨量の約半分に達する。日照時間も比較的多く、海陸風の循環によって年間を通してしのぎ易い。

### 災害事例 地震

- 1944年12月7日（昭和19年）東南海地震 M=7.9  
県中・西部で被害が大きかったが、当地では比較的軽微で、相川での震度が5程度であった。
- 1854年12月23日（安政元年）安政東海地震 M=8.4  
全県下に被害を及ぼした大地震であるが、当地でも吉永で、田は隆起、かん没の場所が多くでき、100戸余りの家が悉く大破した。飯淵では9戸潰れ、相川では140戸のうち70戸潰れ、70戸半潰した。藤守では全潰48戸、半潰23戸であった。また相川で地割れから水を吹き出した。大井川両側の堤防が崩れ平地同様となったといわれる。震度は吉永・相川・藤守で7、飯淵で6であった。

### 災害事例 高潮

- 1961年9月16日（昭和36）第2室戸(18号)台風  
泉川河口付近に高波侵入し、利右衛門・六軒家で70戸の床下浸水を生じた。

### 災害事例 台風

- 1900年8月21日（明治33年）  
相川村上泉で堤防決壊約60m、相川・吉永・静波で浸水800haを生じた。
- 1828年8月10日（文政11年）  
前日より暴風雨で、当日大洪水で大井川東側は島田地内より細島村、西側は源助村をはじめ、下川通まで諸所堤防切れ、川通や内郷村で家が流失し流木多く流れ込み田畑は荒地となった。静浜村で全潰・流失は約30戸位で被災したもの60人余といわれる。また人畜も死亡した。
- 1813年7月27日（文化10年）  
大井川の洪水で島田宿以南の各村は所々堤防破壊し、藤枝宿以南はみな水面となっ

た。

- 1772年8月30日（安永元年）  
7ツ時より4ツ半迄暴風雨。全壊70戸余を出した。